

1 相談窓口の設置

インドネシア人看護師・介護福祉士候補者及び受入れ施設対象に専用電話を設置し、インドネシア語のできる看護師経験者による相談業務を実施（毎週2日（月・木）11:00～18:00）。

フィリピン人看護師・介護福祉士候補者及び受入れ施設向けの相談窓口も設置。

インドネシア人候補者相談窓口（インドネシア語対応可）

連絡先：TEL： 03-3225-6593（直通） FAX：03-6426-8580 Email：sodan@jicwels.or.jp

受付日時：毎週月曜日、木曜日（週2日）（祝・祭日を除く）午前：11:00～13:30 午後：14:15～18:00

フィリピン人候補者相談窓口（英語対応可）

連絡先：TEL： 03-3225-6592（直通） FAX：03-6426-8580 Email：sodan@jicwels.or.jp

受付日時：毎週月曜日、木曜日（週2日）（祝・祭日を除く）午前11:00～13:30 午後14:15～18:00

2 巡回訪問の実施

少なくとも年1回以上、候補者の受入れ状況の確認、就労・研修の助言のため、受入れ施設に巡回訪問を実施した。本年度は、日本語学習の進め方等の助言を行うため、巡回訪問に日本語研修専門家が同行した。

- ・インドネシア人看護師候補者受入れ施設：7月～10月、47病院を訪問。
- ・インドネシア人介護福祉士候補者受入れ施設：8月～11月、53施設を訪問。

3 巡回訪問説明会の実施

就労、研修、生活などの受入れについての留意点などを説明するため、日本語研修期間中に受入れ施設（受入れ責任者、研修責任者等）を日本語研修施設に集めて実施した。

4 看護・介護導入研修の実施

6か月の日本語研修期間の後半に、日本語・インドネシア語、日本語・英語対訳の導入研修テキストを用いて看護・介護導入研修を実施。

5 国家試験受験対策の支援

①教材の開発、配布

施設内研修に資するため、下記の教材（日本語・英語、日本語・インドネシア語対訳）を候補者及び受入れ施設に配布。

（看護） ・看護導入研修テキスト、看護師のための用語集

（介護） ・介護導入研修テキスト、介護の言葉と漢字ハンドブック、介護の言葉と漢字ワークブック、
看護・介護の言葉と漢字ワークブック

②看護師国家試験過去問題の翻訳、提供

- ・過去3か年分（第96～98回）看護師国家試験問題をインドネシア語に翻訳し、インドネシア人看護師候補者・受入れ施設に提供。英語版もフィリピン人看護師候補者・受入れ施設に提供予定。
- ・平成20年度インドネシア人看護師候補者に対して模擬試験をこれまで2回実施。

③E-ラーニングの開発・実施（予定）

看護師候補者・受入れ施設向けのE-ラーニングを開発・実施予定。（日本語・英語・インドネシア語に対応）（平成21年12月から試験的運用を開始）

6 ボランティア登録・紹介制度

インドネシア及びフィリピン人看護師・介護福祉士候補者受入れ施設でのボランティアを希望する人々を国際厚生事業団に登録し、ボランティアの活用を希望する受入れ施設への紹介を実施予定。（年度内）

7. 日本語テストの実施、学習指針の提供

看護師候補者に対する日本語テストの実施、習得度の評価、候補者の学習指針の提示などを実施。（年度内）